ワクワク☆

治田小 学校だより
2026年10月28日
栗東市立治田小学校
NO.9

やり切った運動会！



２２日(木)には、運動会の観覧にたくさんお越しくださりありがとうございました。子どもたちの競技や演技はいかがでしたか。精一杯がんばる姿ややり切った笑顔を見て、保護者の皆さまにも一緒になって喜んでくださった方がたくさんおられるのではないかと思います。

運動会に向けての取組や運動会での子どもたちの姿を見ると、心身ともに成長したことがたくさんうかがえます。運動会を乗り越えることでどんなところが成長したのでしょう。

その一つとして、チャレンジすることが上げられます。難しい動きや高い運動技能を何度も練習して身に付け、ここ一番の大舞台で全力を出し切ることです。体力や運動能力はもちろん、精神力や努力する態度も身に付きます。そこまでの道のりで苦労すればするほど、成し遂げた喜びは大きいし、うまくいかなかったときの悔しさも大きいものです。この経験は子どもたちにとって大変大切なことで、今後の人生において、必ず自分を支える力になります。またいい加減に取り組んだことからは得ることが少ないのですが、自分から真剣に取り組んだことは必ず自信となり、「やればできる」という自尊感情につながります。



さらに子どもたちの姿から大切だと思うのは、仲間とともに力を合わせるということです。学校で学ぶ大きな値打ちの一つは、仲間とともに学ぶということです。これは一人で学ぶよりはるかに個人の能力を高めることにつながります。友だち同士で協力したり切磋琢磨したりするからこそ、一人ひとりが成長するのです。これは運動だけではなく、日頃の教室の学習でも同様です。様々な状況の友だちを尊重し、仲間として一緒に励み、相手の気持ちを考えながら行動することで、集団としての力が高まります。自分のわがままを押し通すのではなく。仲間同士でお互いに合わせることができると、社会性やコミュニケーション能力、そして人間関係を良好に調整する力が育まれていくのです。



運動会について、ご家庭でも振り返っていただけたと思います。ここで一回りも二回りも成長したことを次に生かすことができるよう、教職員も一丸となって取り組んでいきます。今後とも温かいご支援、ご協力をよろしくお願いします。

運動会のサポートをありがとうございました！

運動会に向けて、治田小サポーターのみなさんが運動場の溝蓋の整備や植え込みの樹木の剪定等をしてくださいました。また、PTAからは運動場周りの除草作業を業者に委託してくださったり、運動場の土を購入いただいたりしました。そして、前日準備や当日の駐輪場の誘導係テント等の後始末等大変お世話になり、運動会の運営をスムーズに進めることができました。お世話になりありがとうございました。

お米の収穫をしました！



５年生が５月に田植えをした稲が、見事に成長して９月末に稲刈りをしました。子どもたちは最初は慣れない手つきで鎌を使い、一本一本丁寧に刈っていきました。しかし刈っても刈っても稲が減っていきません。隣の田んぼではコンバインで次々に勝っていく様子が見られます。農作業の大変さと大型機械のすごさを感じた子どももいたようです。稲刈りが進むにつれて、足元にたくさんの稲穂が落ちます。それに気付けず踏んでしまっている子どもも出てきました。「落ちた稲穂にもお米がついているよ」と声をかけると、「稲穂一本で何粒のお米がついているのかな？」「ごはん茶碗一杯分のお米ってどれくらいかな？」と考えながら、落ち穂を拾うことができました。



稲作の大変さや、農家の方々への感謝、そしてお米をはじめとする食べ物の大切さを、実体験を踏まえて感じ取ることができたと思います。

今回もボランティアとして小林伊佐雄様、植村敬様、山本聰様、青木作衛様に多大なご支援をいただき稲刈りが成功しました。おかげさまで３０kg入りの袋が４袋分のお米と、籾殻を大きな袋２袋分を収穫することができました。ありがとうございました。

校長日記

最近、早朝や夕方に近所を歩く人をよく見かけるようになりました。からだの健康のためには歩くことはとてもよいことなのですね。実際私の知り合いにも、毎日歩き始めたおかげで健康診断の結果がすこぶるよくなったという人もいます。万歩計なんかを持ち歩いて、「目標〇〇歩」と決めている人もおられるのではないでしょうか。

ところで以前こんな研究論文を読んだことがあります。子どもの一日の運動量を万歩計で測定して、３０年前（親の世代）と比較したものです。その結果、現代の子どもは親の世代と比較して歩いている（走っている、遊んでいるなどの活動を含む）量が顕著に少ないということです。さらに驚いたことに、曜日別に比較すると、一週間のうち運動量が多い日が３日だけあるというのです。その曜日は学校で体育の授業がある曜日だそうです。ということは、体育以外に運動することがほぼない子どもが増えているということらしいのです。

歩くというのは健康に良いだけでなく、成長期の子どもにとっては骨に刺激を与え身長を伸ばすことにつながります。また、姿勢の保持や脳の発達にもよい影響を及ぼします。教室で落ち着いて姿勢を保てない子どもは、運動不足が要因かもしれません。さらに歩くときにかかと寄りに体重をかけて背中を丸めて歩いていると、つま先の発達が促進されずに偏平足になるとも言われています。そうなると早く走ることもできなくなるそうです。いずれにしても歩くことは子どもたちにとっても、大切なことなんですね。

毎朝、交差点に立っていると子どもたちが元気に歩いて登校してきます。「おはようございます。」と元気よく挨拶してくれる姿をみると、こちらも力をもらえた気持ちになります。治田小の子どもたちは、分団登校で比較的きれいに並んで登校できていると思います。旗当番は大変だと思いますが、そんな子どもたちの歩く姿を守るため、今後ともよろしくお願いします。